

プロローグ

11

Ⅰ 広野を掘れば

1 広野町の全町避難

..... 16

2011年3月11日/原発避難/転々として

2 兵庫からやって来た

..... 30

着任/たった1人で/いびつな体制
/ぎこちないコーヒー/でこぼこ師弟の結成

3 焼け野原のまち

..... 50

阪神・淡路大震災/こんなときに発掘なんて
心の食べ物/地元か結婚か

4 復興支援

..... 59

職員派遣/遺跡を見せてください
残せなかった遺跡/記録さえも

5 兵庫しかない

..... 69

東京の3・11/力になりたい/予算を確保せよ
職員を派遣せよ/恩を返さんと

6 遺跡は復興の壁

..... 86

広がる誤解/命か文化財か/「絵」にならない

7 新たな遺跡

..... 95

災害公営住宅の計画/遺跡なんか、ねえ!
試掘調査、お願いします/何とかしてください
遺跡は、ありますよ!

8	板挟み	108
	伝説の家に生まれて／家族は 我が家は わたしは、女だ／つかない復興交付金／ここには味方がおる	
9	見えてきた光	124
	仲間のカンパ／男たちの会議 涙あふれて地固まる／発掘、やらんとな	
10	埋もれた歴史	136
	謎の四角い柱穴跡／もしかして駅家 遺跡と復興は両輪／町が変わり始めた	
11	運命の日	149
	証拠がほしい／後世に申し訳ねえ 遺跡を残そう／さよなら、帰るわね	
12	まちの「宝物」	158
	新たな体制／奈文研、参上／最新鋭の技術／帰って来たい	

II ふるさとに中間貯蔵施設

1	原子力ムラの誕生	170
	大熊町と原発誘致の機運／エネルギー革命／共存共栄	
2	神秘の光景	180
	日隠山と海渡神社／日没を見る会／戻れぬ故郷	
3	記憶の記録	190
	出版／石碑類の記録／住民説明会	
4	世界初の発掘調査へ	199
	掘れない理由は、ない／新しい風 思いがけない辞令／浜通り出身として	
5	福島島の歴史を刻む	211
	怒れる男／堂ノ上遺跡 異例づくめの本調査／持って帰った牛乳瓶	

III 福島は立つ

1 「文化財」が生んだ輪 発掘研修／10年間ふるさとなみえ博物館 史跡指定をめざして	228
2 原発避難のまちから 用地交渉／山神社／日隠山に沈む夕日を、再び プラタナスは語る／遺構保存のゆくえ	239
3 遺跡保存のまちはいま 蛇王さまとともに／まちを誇りに思う／回覧板	257
4 ともした灯をつなぐ 整理作業のプライド／がんばろう福島／専門職員への扉 魂を震わすもの／次世代に託すために	265
おわりに すごい遺跡／リカちゃん人形／「文化財」とは／謝辞	276
【付録】東日本大震災における福島の被害と現状	288
参考文献	291

装丁

小川恵子（瀬戸内デザイン）

地図作成協力

株式会社キーステージ 21